

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用口					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローアップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション・レーベルワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	プロダクション・レーベルワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	16回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。					
授業概要						
マネージャーやファンクラブおよびレコード会社業務の基礎と、サブスクリプションサービス等最新の業界動向について学ぶ。						
到達目標						
マネージャーやファンクラブスタッフおよびレーベルスタッフとしての基本的な業務知識、業界用語の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1回目	授業概要説明					
【前期】 2～6回目	プロダクション/マネジメント業務内容について					
【前期】 7～9回目	プロダクション/エージェンシー業務について					
【前期】 10～13回目	プロダクション/原盤制作・ライブ制作について					
【前期】 14回目	プロダクション/マーチャンダイジングについて					
【前期】 15回目	ファンクラブ業務について					
【前期】 16～18回目	レコード会社/制作・宣伝・営業部門の業務内容について					
【前期】 19～20回目	音楽出版社の業務内容/著作権について					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	著作権講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	著作権講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース/企画制作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)にて音楽活動を開始。井上陽水の前座などを務める。音楽活動終了後はTV番組制作会社に就職しアニメーション演出担当で数多くの作品に携わり、その後音楽出版社・レコード会社にて著作権管理や原盤制作ディレクターの業務やライブイベント制作を行う。					
授業概要						
音楽著作権をはじめとする著作権知識を学ぶ。						
到達目標						
将来音楽ビジネスを行うにあたり、実務として行っていることが、法に抵触するか否かの判断力を養えるようになる。						
授業計画・内容						
【後期】 1～5回目	著作権の概要 著作物、著作者					
【後期】 6～8回目	著作者の権利					
【後期】 9～11回目	保護期間～著作権譲渡と利用許諾について					
【後期】 12～15回目	著作権の制限について					
【後期】 16～17回目	著作隣接権について / 著作権の侵害について					
【後期】 18回目	知的財産権制度 / 情報社会と情報モラルについて					
【後期】 19回目	総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	ウイネット ビジネス著作権検定 公式テキスト およびプリント配布					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース 企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 6～10回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 11～15回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 16～19回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 20～24回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 25～29回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 30～34回目	ホール/ライブハウス/イベントについて					
【後期】 35～37回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について					
【後期】 38回目	総括。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブ・イベント制作講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライブ・イベント制作講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	ライブハウス店長として店舗運営のノウハウを取得。同店舗にてライブハウス業務に加え映像部門を立ち上げ、現在はライブハウスプロデューサーという立場から運営に携わっている。 またイベント制作、ホールイベントの舞台監督、所属アーティストのA&R業務などを経験している。					
授業概要						
ライブイベントを制作するために必要な基礎業務を具体的に学ぶ。						
到達目標						
ライブイベントの運営方法を学び、ライブハウス規模でのイベントを自分たちで企画・運営できる知識と技術を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	イベントに関わる仕事・イベント用語・舞台用語基礎 音楽イベントの種類・イベント制作のスケジュール・イベント概要(テーマ)・予算・収支予測について チケット販売の方法 注意点・当日の運営／プロモーションについて					
【前期】 6～10回目	会場のレンタル方法・会場とのやり取り・各セクションとのコミュニケーション アーティストとの接し方/ブッキング・手配書・楽屋・ケータリング タイムテーブルについて/イベント制作の補足					
【前期】 11～15回目	企画立案①～④ 架空イベントを作り発表するグループワーク 音楽ジャンル別のイベントスタイル(音楽イベントの目的を明確化)/ターゲット(観客層)の設定 アーティストの選定/ブッキング交渉の仕方/タイムテーブルを作る/プロモーションを考える					
【前期】 16～19回目	物販とは売り方・ライブ配信 配信チケット・ライブ配信について・イベントライブに向けて企画～企画概要の決定 前期試験					
【後期】 20～24回目	イベントライブにむけて アーティストブッキング/プロモーションアイディア出し～作業開始					
【後期】 25～29回目	イベント詳細タイムテーブル作り プロモーション作業					
【後期】 30～34回目	各セクションとの連携や確認 テクニカルとの確認 情報共有・アーティストとの情報共有					
【後期】 35～38回目	イベントライブの準備 各セクションでの準備/当日の運営についての確認 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPC I		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	クリエイティブPC I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々な職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。					
授業概要						
Illustrator、Photoshopの基礎的な操作およびOfficeソフトの基本的な使用方法について学ぶ。						
到達目標						
フライヤーやホームページ制作に必要とされる基礎的なデザイン知識や技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業ガイダンス&Mac基本操作/タイピング練習 Wordの基本知識と操作(入力・文章の整形・写真や図形の挿入・カーニングや行間・フォント/簡単な資料作成) Excelの基本知識と操作(操作方法・セルについて・写真、画像挿入・関数について・簡単な表作成)					
【前期】 6～10回目	Adobeアプリの基本説明(Adobeアプリ概論) Photoshop基本(基本操作・パネル、メニューについて・リサイズやトリミング・レイヤー・色相、彩度、色温度、RGB、CMYK等について・マスク、フィルターでの画像合成・レタッチの基本・パス、シェイプについて・パスで切り抜く練習)					
【前期】 11～15回目	Illustrator基本(基本操作・パネル、メニューについて・ドラスもんを書いてみる・テキスト入力、カーニング、アピアランスで文字加工～アウトライン化・ペンツールでトレースの練習・写真配置、埋め込み) Illustrator・Photoshopを使用したWEBフライヤー、その他作品作りに挑戦。					
【前期】 16～19回目	デザインの四大原則と色彩の基本～企業ロゴをデザイン/WEBと印刷物の違い・WEBサイトデザインの基本 HTMLタグの基本、簡単なページ作成 前期試験					
【後期】 20～24回目	ワイヤーフレームとサイトMAP作成(ワイヤーフレーム、サイトMAPの説明・既存サイト解析) Googleサイトで簡易サイト作成(Googlrサイトを使いサイトを作成してみる) Adobeアプリを使用してアーティストのグッズデザイン					
【後期】 25～29回目	Adobeアプリを使用してお菓子のパッケージをデザインしてみる Adobeアプリを使用して雑誌の表紙をデザインしてみる					
【後期】 30～34回目	テンプレートをベースにCDパッケージのデザイン練習 HTML、WEBデザイン関連/Adobeアプリについて復習					
【後期】 35～38回目	冊子(8P)制作のグループワーク 現状のスキルを総動員して就活等でアピールに使える自身のポートフォリオを制作 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PA基礎実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。					
授業概要						
ステージ・コンソールの仕込み、回線チェックの仕方を学ぶ。						
到達目標						
コンサート・ライブに於ける音響および楽器知識と技術の習得。 マイキング、音作りの理解、バンドの対バン形式での転換のノウハウ習得。イベントでPAを担当できる技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業について(ノートの取り方)、PAシステムや機材説明、電源の入れ方消し方、テスターの使い方 マイク・DIの種類と特徴、取り扱い方と注意事項／トークバックのレベルの取り方とメインスピーカーのチェックの仕方／マイクスタンドの立て方とマイクの取り付け方、8の字巻きについて					
【前期】 6～9回目	ステージ上のインプットの仕方(回線表の見方、項目の説明)、回線チェック／ステージ上のセッティング(インプットのみ)／電源立ち上げ ～トークバックレベル取り～メインスピーカーチェック～インプット仕込み～回線チェック					
【前期】 10～13回目	モニタースピーカーの設置の仕方、繋ぎ方、チェック方法					
【前期】 14～18回目	回線表を元にセッティング&チェック、ステージ上のセッティングとメインスピーカーから出る音のバランスとり 授業内ライブ実施					
【後期】 19～21回目	ドラム周り・ベース・ギター・その他のマイキング					
【後期】 22～25回目	授業内ライブ実習に向けての事前授業～本番、ここまでの復習					
【後期】 26～29回目	ドラム周り・ベース・ギター・その他の音作り、バランス取りなど、サウンドチェック方法					
【後期】 30～32回目	「ライブ・イベント制作実習」イベント本番に向けての確認授業、1年間の総復習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	照明基礎実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。					
授業概要						
ホール常設機材を使用した照明オペレートの実践。企画イベント実施に向けた準備。 照明について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学ぶ。						
到達目標						
ライブハウスで照明業務を行う為の基本的な機材の扱い方、コンサート・ライブに於ける照明技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	照明授業に必要なものについて／機材申請、宿帳、チェックシート／ホール資料見方、読み方、使い方／12号ホール倉庫確認／9号電源の場所と名称、使い分け					
【前期】 4～6回目	＜照明機材について＞ 舞台用語／カラーフィルター／アクセサリ名称、使い方／ケーブルの分類と巻き方／灯体の種類と特徴について					
【前期】 7～11回目	＜PINSPOT／調光卓を学ぶ＞ CUEシートの読み取り方／灯体を扱う上での注意点／仕込み～準備、操作方法／maxim卓について					
【前期】 12～18回目	＜照明プランニング／ライブ実習＞ プランニング、舞台用語、機材用途／打ち込み、PIN・仕込み練習～ライブ本番					
【後期】 19～22回目	＜安全講習／仕込み作業＞ 安全講習／仕込みの方法～実践					
【後期】 23～25回目	＜ライブ実習準備＞ 打ち込み、PIN・仕込み練習～ライブ本番					
【後期】 26～30回目	照準器の使い方／Pearl卓について					
【後期】 31～32回目	「ライブ・イベント制作実習」イベント本番に向けての確認授業、1年間の総復習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング基礎実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのレコーディングからミックスまで学ぶ。						
到達目標						
レコーディング現場に於ける音響技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	レコーディング(スタジオ)のシステムを憶える。機材の名称、用途、操作方法を学ぶ。 レコーディングとは、スタジオ使用注意事項、電源の入れ方・切り方、Boothについて、マイクスタンド、マイクの種類・指向性、周波数について、可聴周波数帯域、ケーブル・コネクタの種類、ケーブル巻き					
【前期】 8～11回目	VoRECに必要なもの、信号の流れ、Protoolsのセッション作り、反復記号、弾き語りセッティング、SSWのセッション作り・Voセッティング					
【前期】 12～16回目	音楽アーティスト科シンガーソングライターコースと協力し、弾き語りレコーディングを体験する。					
【前期】 17～21回目	前期の総復習、「セッティングから音出しチェックまで」の復習					
【後期】 22～25回目	レコーディングの流れを憶える・マイクの説明・信号の流れ(マイク～スピーカー)→1-B1のシステム図を書く。・楽器の略語の説明 ・Protoolsもトラック数を増やしてセッションを作る・マイクの本数、種類を増やして、ブース内のセッティング・LINK回線					
【後期】 26～31回目	弾き語りREC ・弾き語りセッティング?Protoolsのセッション作り、CLICK作り ・譜面のチェック→歌詞カードでカウント取りの練習・録音(パンチイン、パンチアウト)					
【後期】 32～34回目	後期の復習とテスト対策 テスト範囲を実際にやってみる(自習形式)					
【後期】 35～38回目	レコーディングの流れを憶える・マイクの説明・信号の流れ(マイク～スピーカー)→1-B1のシステム図を書く。・楽器の略語の説明 ・Protoolsもトラック数を増やしてセッションを作る・マイクの本数、種類を増やして、ブース内のセッティング・LINK回線					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	映像基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	映像基礎実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。					
授業概要						
映像編集ソフトを用いた編集の基礎を学び、ページックな作品を制作する。						
到達目標						
撮影機材の取扱いや編集ソフトの使い方の基礎技術の習得。独力で簡単な作品の編集が可能な技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	データ管理、映像制作について。Premiere基礎:UIの説明、基本編集操作。					
【前期】 6～10回目	動画制作実習①:イメージ動画作成。					
【前期】 11～15回目	Premiere基礎:ショートカット、エフェクト、キーフレーム、書き出し。動画制作実習②:トレーラームービーの制作。					
【前期】 16～19回目	撮影の初歩技術:画角の基本。撮影時の注意事項。カメラ設定。カメラワーク練習。動画制作実習③:自己紹介動画の制作。					
【後期】 20～24回目	動画制作実習③:自己紹介動画の制作。					
【後期】 25～29回目	カメラ実習:配信可能な状態にまでセッティングし、実際に合わせてカメラワーク、スイッチングワークを練習する。					
【後期】 30～34回目	動画制作実習④:クラス制作:テーマに沿った動画をグループで制作する。					
【後期】 35～38回目	「音楽スタッフ実習」と連動した企画ライブの撮影～編集。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	音楽スタッフ総合実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修					
3回目	外部企業見学					
4～5回目	ゲスト講師による音楽・エンタメ業界スタッフ授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						